

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 白岡市

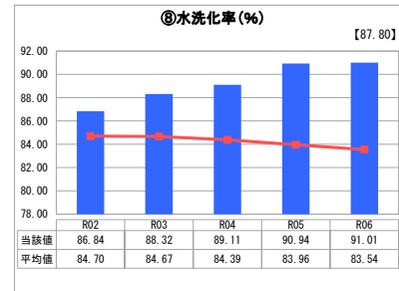
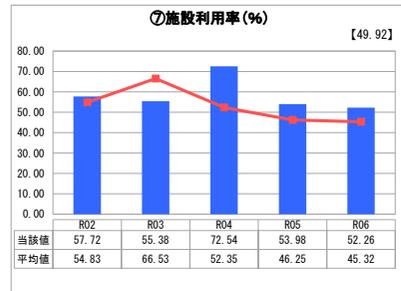
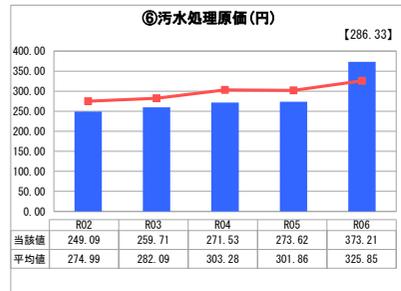
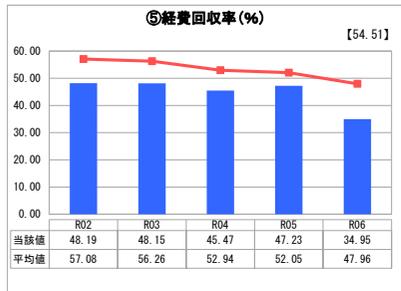
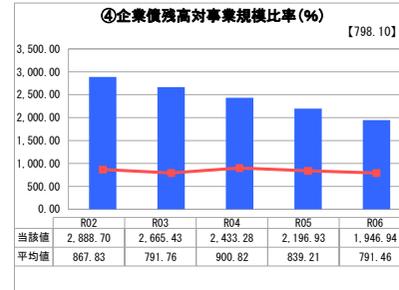
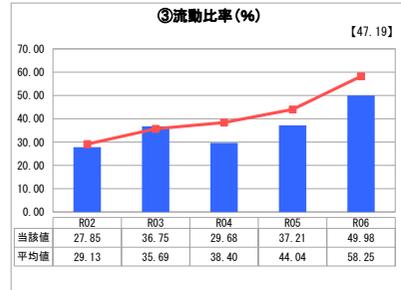
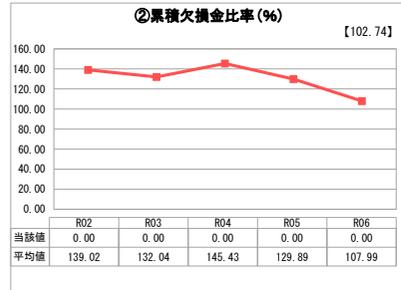
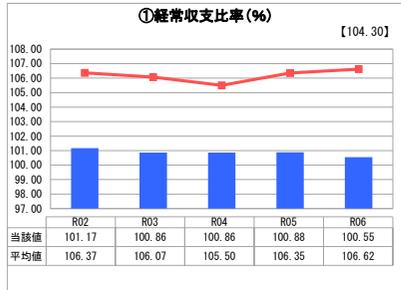
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	73.03	2.32	100.00	3,190

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,404	24.92	2,102.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,212	0.61	1,986.89

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っているが、経常収益の31.2%が基準外繰入金である。③流動比率は100%を下回っており、負債に対する短期的な支払い能力が不足している。収支の観点、資金繰りの観点共に基準外繰入金に大きく依存しており、修繕や維持管理に係る費用も増加傾向であることから、抜本的な経営改善が必要である。

④ 企業債残高対事業規模比率は、事業開始時の積極的な施設整備の影響で高い水準になっているが、近年は企業債を新規発行しておらず、減少傾向になっている。

施設の運転費用に対し、利用者が少なく十分な使用料収入が得られないことから、⑤経費回収率は低く、⑥汚水処理原価は高くなっている。使用料の改定のみによる改善は限界があり、公共下水道への統合による抜本的な経営改善に向けた取組を進めている。

区域内人口が少ないことから排水量も少なく、⑦施設利用率は低くなっている。

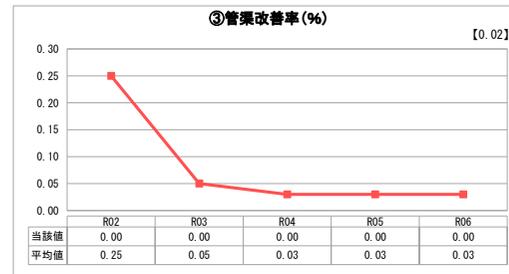
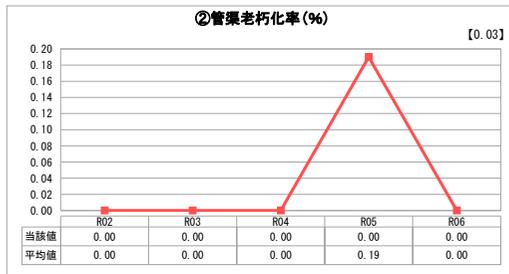
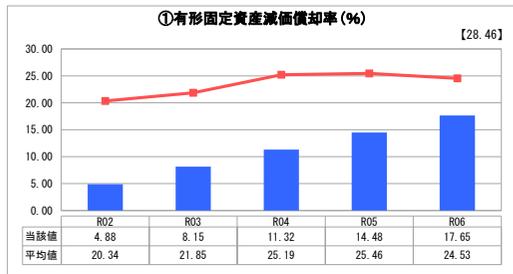
⑧水洗化率は類似団体平均より高い水準であるが、今後も水洗化率の向上に努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管渠がないことから、管渠老朽化率は数値化されていない。

しかし、将来的な施設の老朽化に向けて、改築更新に係る費用と経営に与える影響を十分検討し、経営改善の実施や投資計画等の見直しを行う必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

基準外繰入金により不足額を補填して経営している状況であり、将来的な施設の老朽化や維持管理費の増加により、必要な基準外繰入金の額は増加傾向になる見込みである。

こうした中、水洗化率の向上や経費削減、使用料改定による収支改善では限界があり、公共下水道への統合による抜本的な経営改善に向け、取組を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。